

2015 年度常設展示 第 I 期

没後 60 年記念 恩地孝四郎とその周辺

2015 年 10 月 31 日 (土) ~12 月 24 日 (木)

恩地孝四郎 (おんち こうしろう、1891-1955) は 1910 年代前半 (大正初期) から第二次世界大戦後の 1950 年代半ばまで、常に日本の版画界の中心にいて、リーダー的な存在として活躍した版画家です。さまざまな感情や印象、感覚を都会的でモダンな作風の木版画に表現しました。没後 60 周年にあたる本年、収蔵作品を制作年代順に展示し、恩地の仕事を振り返ります。

版画家としての恩地の出発は、1914 年 (大正 3) に、竹久夢二のもとに集まった田中恭吉と藤森静雄という仲間とともに版画と詩の同人誌『月映』を創刊したことにありました。この版画同人誌は 1915 年までに全 7 輯が公開され、当時萩原朔太郎や北原白秋、竹久夢二らの共感を得ていました。現在では大正期の美術の代表的表現が見られる作例として歴史的に高く評価されています。恩地は、結核におかされて死に直面する田中恭吉への気遣いや、日常生活のなかにわきおこるさまざまな感情をまるで詩のように抒情的に木版画に表わし、この同人誌に寄せています。そのような表現のなかから、日本における最初期の抽象画を生み出しました。

その後『月映』終刊後の恩地は、1910 年代には形態を線で分割したキュビズム的作品や、彫刻刀による曲線の彫り跡を多用したドイツ表現主義的様式の世界を制作しました。また 1920 年代には、ダダや構成主義といったアヴァンギャルド芸術に接近して、人体の一部を即物感のある幾何学的形態で表現しています。

1920 年代末から 30 年代前半になると、関東大震災から復興した新東京の風景や新しい芸術文化に鋭く反応して、それらに抱く感覚を具象と抽象の両方のスタイルで表わしてきました。また、木版画と詩 (文字)、写真などで構成した美術作品と呼べるモダンな本を制作して、新しい時代の感覚を表現しています。

1940 年代になると、モダンな作品を制作し続けてきた恩地とはいえ、さすがに大東亜会議列席者や富士山などのモチーフを取り上げて時局的内容の版画を制作しました。しかしその一方では、幾何学的形態や清涼感のある色彩によってモダンな作風の版画も制作し、モダニストらしい従来の一面を作品に残しています。

戦後はベニヤ板や紐、布、落葉、貝殻、墨の切り口などを自由に版として利用する「マルチブロック」と呼ぶ技法で、ダイナミックな抽象版画を多数制作しました。それらの版画には戦時下での閉塞感や不自由な創作活動からの解放感とともに、新しい時代への期待感があらわれているように見えます。

今回の展示では、『月映』の仲間や 1936 年に出品して会員

に推挙されて以来出品をつづけた国画会の版画部初期同人、1939 年から自宅で始めた版画研究会「一木会」のメンバーらの作品を展示して、周辺からも恩地孝四郎の作品を振り返ります。

◇ 出品リスト

- ・No.、題名、制作年、技法、サイズ・タテ×ヨコの順に記載
- ・No.8~9、25~29、45~47 は恩地孝四郎以外の版画家の作品

1. 一つの貌
1914 木版 15.3×11.2cm
2. あかるい時 (公刊『月映』V)
1915 木版 13.6×9.8cm
3. 抒情 いとなみ祝福せらる (公刊『月映』VI)
1915 木版 13.8×10cm
4. 抒情 相信ずるところ (公刊『月映』VI)
1915 木版 13.3×9.8cm
5. 抒情 慈に泪す (公刊『月映』VI)
1915 木版 14×9.4cm
6. 抒情 躍る (公刊『月映』VI)
1915 木版 13.4×9.8cm
7. 抒情 真実ひとり輝きめぐる (公刊『月映』VI)
1915 木版 15.9×11.5cm
8. 田中恭吉
冬蟲夏草 (公刊『月映』III)
1914 木版 15.6×13cm
9. 藤森静雄
死によりて結ばれる心 (公刊『月映』III)
1914 木版 19.1×13.1cm
10. 母と子
1917 頃 木版 29.5×23.7cm
11. 母と子
1917 頃 木版 29.5×23.7cm 小野忠重コレクション
12. 水浴
1920 頃 木版 23×16cm 小野忠重コレクション
13. 水浴 (『風』再刊 2 号)
1920 頃制作・1929 摺り 木版 23×16cm
14. 顔
1924 木版 24×26cm 寄託
15. 浴室午前 (『HANGA』第 13 輯)
1925 木版 21.2×14.4cm
16. 童女浴後
1928 木版 29.7×19cm 小野忠重コレクション
17. 人体考察 no.3 衣をつけたる (『風』再刊第 1 輯)
1929 木版 17×12cm
18. 新東京百景 二重橋早春
1929 木版 19×24.3cm

19. 大東京遠望
1929 木版 20.5×30cm 寄託
20. 新東京百景 カフェ
1930 木版 18×23.3cm
21. 詩画集『飛行官能』(書籍)
1934 木版、写真、活字 26×38.7cm (見開き)
22. 詩画集『海の童話』(書籍)
1934 木版、活字 28.4×43cm (見開き)
-1 新しい膚は太陽にをののく
-2 女身は溶けて 一片のくらげである
23. 新日本百景 台北東門
1939 木版 26×21.9cm
24. 新日本百景 雲仙一景
1940 木版 22.8×30.8cm
25. 川西英
神戸百景 ダンスホール
1935 木版 14×21cm
26. 平塚運一
新日本百景 平壤牡丹台
1940 木版 22.6×30.1cm
27. 棟方志功
蟹(『版藝術』6号)
1932 木版 13.8×17.2cm
28. 川上澄生
新東京百景 銀座
1929 制作・1945 摺り 木版 18.3×24.2cm
29. ワルワーラ・ブブノワ
コンポジション 1
1930 頃 リトグラフ 26.5×39cm
30. 大東亜会議列席代表像 MAW 主席像
1942 木版 41×37cm
31. 坦丘白月
1943 木版 17.2×23.7cm
32. 清岳高邁
1943 木版 16.5×23.3cm
33. 音楽
1944 木版 33.8×24.8cm
34. 海の見える窓(『一木集』I)
1944 木版 23.5×17.7cm
35. 海のおとぎ話(『一木集』II)
1946 マルチブロック 26.8×21cm
36. 大理石彫刻への幻想(『一木集』III)
1947 マルチブロック 24.5×15.7cm
37. ストラヴィンスキー"コンチェル・チーノ"
1947 マルチブロック 22.5×21cm
38. アレゴリー コロンブスの卵(『一木集』IV)
1948 マルチブロック 31.1×19.5cm
39. Trivial Romance (取るに足らないロマンス)(『一木集』V)
1949 マルチブロック 27×21cm
40. リリック No.9 はるかな希い(『一木集』VI)
1950 マルチブロック 32×22cm
41. ポエム No.22 葉っぱと雲
1953 マルチブロック 42.5×33cm
42. 題名不詳
1950代(推定) マルチブロック 42×34.4cm
43. コンポジション
1953 リトグラフ 44.2×28cm
44. ポエム 白い花
1954 リトグラフ 45×29cm
45. 関野準一郎
恩地孝四郎像(『一木集』I)
1944 木版 35.4×27.6cm
46. 山口源
木ノ葉(『一木集』IV)
1948 マルチブロック 35.4×27.4cm
47. 駒井哲郎
ラジオアクティヴィティ イン マイルーム(『一木集』VI)
1950 エッチング、メゾチント 20×16cm

◇ 畦地梅太郎(1902~99)コーナー

畑の中の家
1922 頃 鉛凸版 21.6×29.4cm

妙義山
1940 木版 30.6×45.1cm

白い像
1958 木版 69.2×45.3cm

火の山の思案
1980 木版 38.9×28.9cm

◇ 浮世絵玉手箱

～三代歌川豊国(1786~1864)特集～

清書七伊呂波 あけからず 浦里 時次郎
安政3(1856) 木版

清書七伊呂波 しらひや 尾形寛行
安政3(1856) 木版

七伊呂波拾遺 九右衛門 小松や宗七
安政3(1856) 木版

2015年10月31日
発行：町田市立国際版画美術館
〒194-0013 東京都町田市原町田 4-28-1
<http://hanga-museum.jp/>